

事務局だより

・本部事務局も本年4月から2年目に入りました。先日頃、非常に多くの方々から事務局の運営のためお力添えをいただいております。この場を借りまして、皆様のご支援に心よりお礼申し上げますとともに、今後とも何卒よろしくご協力のほど、お願い申し上げます次第です。

・本年9月1日から日本アメリカ文学会のホームページが刷新されます。より見やすく、使いやすいサイトづくりをめざしました。これまで同様、皆様にご利用頂けますようお願いしております。

・本部関係では、事務局の里内克巳氏が退任され、石塚則子氏が新たに幹事として就任されました。また編集室では、本合陽氏が退任され、常山菜穂子氏が新たに幹事として就任されました。

・ご案内のように、第54回全国大会は、10月10日(土)、11日(日)に京都大学で開催されます。第1日の開会式におきましては、第6回新人賞の選考結果発表が行われます。多数ご参加ください。続く研究発表では、12室に分かれて計43名の会員が発表を行います(前回53回大会は33名)。近年、発表者数が低迷した年もありましたが、今年度は40名を越えたため、事務局も嬉しい悲鳴をあげました。これも各支部における日頃の地道な努力があつてのこと。心より御礼申し上げます。力のこもった発表が期待されますので、皆様ふるってご参加ください。また、ご多忙のところ快く司会をお引き受けいただきました先生方に、この場を借りましてお礼申し上げます次第です。

・第2日は、午前10時15分からの総会の後、作家の藤野可織氏による特別講演が予定されています。午後1時半からのシンポジアは、「アメリカ文学における幸福の追求とその行方」(関西支部発題)、「逸脱する結婚—アメリカ文学と不倫のエロス」(九州支部発題)の、合わせて2つが企画されています。どちらも刺激的な視点からアメリカ文学を捉えようとする意欲的な企画であり、フロアからの質疑も交え、活発な議論が展開されるものと期待しております。午前と午後の間に挟まる形で開催されますワークショップでは、授業方法研究会の英語による報告・発表が企画されています。シンポジアもワークショップも、素晴らしい企画が揃っておりますので、是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。

・第1日目の午後6時より、京都大学キャンパス内で懇親会が開かれます。会員同士が交流する貴重な場として、懇親会には毎年多数のご参加をいただいております。この準備のためには、あらかじめ参加者の人数を把握しておく必要がありますので、ご参加される際には、「会報 ALSJ」に添えられています予約用のハガキにご記入の上、期日(9月19日)までに郵送してい

たきますようお願い申し上げます。

・毎年の全国大会の重要な企画の一つに、賛助会員である書店・出版社による書籍展示があります。研究書・資料の最近の出版動向を知るだけでなく、賛助会員と一般会員とが交流を行う貴重な場として、書籍展示場により多くの方が足を運ばれますことを希望する次第です。

・第54回大会準備でご尽力いただいております関西支部、並びに開催校である京都大学の運営委員の先生方には、ひとかたならぬお世話になり、改めましてお礼を申し上げます。今回の全国大会が有意義で盛況となりますことをお祈りいたします。また昨年度は、北海道支部、および開催校の北海学園大学の大会運営委員の先生方をはじめ多くの関係者の方々のご尽力により、盛会のうちに全国大会を無事終えることができました。この場を借りまして、皆様に心よりお礼申し上げます。

・来年の全国大会は中四国支部のお力を得て、ノートルダム清心女子大学を会場として10月1、2日に開催される予定です。例年より少し会期が早めになりますので、会員の皆様にはご留意いただきますようお願い申し上げます。

・「会報 ALSJ」第53号をお届けしています。今年は「名簿補遺」の年に当たりますが、個人情報保護にも留意しつつ、迅速に対応いただきました各支部の事務局の先生方に御礼申し上げます。また「会報 ALSJ」の「本部構成」「支部構成」では、今年度の役員の方や支部活動が紹介されています。「支部の頁」は、各支部事務局からいただきました原稿を掲載していますが、各支部の活動状況の詳細を窺い知ることができる、貴重な記録となっています。今後とも各支部のご協力をお願いいたします。

・「会報 ALSJ」を、毎年8月末に発行できるのは、ひとえに京都の山口書店編集部の皆様、とりわけ竹村春美氏のご尽力によるものです。大会プログラム、研究発表やシンポジウムのレジュメ原稿、会員補遺の整理から、丁寧な校正にいたるまで、毎年細やかなお心配りをいただき、頭の下がる思いです。ここに心より感謝申し上げます次第です。

・事務局からのお願い：住所・勤務先変更、入会申し込み、会費の納入などの手続きに関しましては、本部事務局ではなく各「支部事務局」へご連絡いただくようお願いいたします。また、ご著書をご惠贈いただく場合は、本部事務局ではなく資料室へご送付のほど、よろしくようお願い申し上げます。

(文責 本部事務局幹事 辻本庸子)